

信頼性・破壊力学合同シンポジウム原稿執筆要領 (15pt)

材料大学 ○日本太郎* 実験大学 材料花子** (11pt)
材料大学 ○日本次郎* 実験大学 日本三郎** (11pt)

A Sample of Manuscript of Submitted Paper to Joint Symposium of Fracture Mechanics and Reliability (13pt)

by

○ Taro NIHON*, Hanako ZAIRYO**, Jiro NIHON* and Saburo NIHON** (11pt)

* Materials Science and Engineering Department, Zairyo University, (11pt)

1-101 Yoshida-izumidono-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8301, Japan

** Production Engineering Department, Jikken University,

1-101 Yoshida-izumidono-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8301, Japan

< 1行分あける >

1 緒 言

「本Camera Ready原稿執筆要領」は日本材料学会の「投稿原稿見本（2013年改訂）」を基に作成しております。日本材料学会「投稿原稿見本（2013年改訂）」は http://www.jsms.jp/kaishi/k_form.htm からダウンロードすることができます。

原稿用紙にはA4判（横210mm，縦297mm）の白紙を用い，最大頁数は6頁とします。学会への送付時に著者の姓と頁数を原稿用紙の上段余白に（日本1/6，日本2/6，... などのように）鉛筆でご記入下さい。

論文集の仕上りもA4判で，図表や写真もそのままの大きさで印刷されます。レイアウト等を十分吟味下さい。

2 体裁に関する注意事項

2・1 マージン

左右に21mm，上23mm，下18mmの余白部（マージン）を確保願います。このマージンは印刷上絶対に必要です。マージン部分に書かれた内容は印刷されませんのでご注意下さい。本文は2段組で中央部をこの見本程度（約10mm，または全角で3文字分程度）あけて下さい。

2・2 文字数と大きさ

このサンプルでは本文を9ポイントにしています。この場合，1頁あたり25字×51行×2段＝2550字となります。ただ，この文字数は，パソコンの機種およびソフトウェアによって異なりますので，あくまでも目安です。タイトルは一見して違いがわかる程度に大きくすれば十分ですが，このサンプルでは，(1)和文題名（15ポイント），(2)和文著者名（11ポイント），(3)英文題名（13ポイント），(4)英文著者名・所属（11ポイント）としています。

2・3 使用フォント

使用するフォントに特別の制限はありませんが，明朝体を基本として下さい。英文原稿の場合には，Times (Roman)フォントを基本とします。適当にゴシックやボールドにしてアクセントを付けるなどの工夫は著者にお任せします。

2・4 図表

図表を本文で引用する場合は，図(写真を含む)については，Fig.1, Fig.2 のように，また表は Table1, Table2 のように引用して下さい。なお，図表中の説明，キャプションは原則として英語とします。本作成見本のように用紙にそのまま貼り込める大きさに用意し，本文中の説明と離れない位置に貼り付けてください。図・表どうし，あるいは図・表と本文は1行以上間隔をあけるようにして下さい。図表はカラーでも構いませんが，印刷は白黒となります。図表中に黄色，青などのうすい色を使用されますと冊子体には写りませんのでご注意下さい。

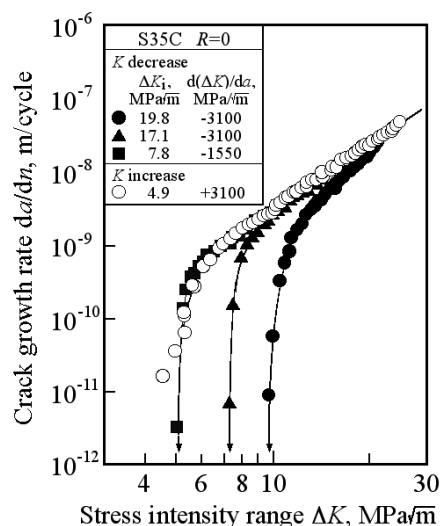


Fig.1 Relationship between $\frac{da}{dn}$ and ΔK .

2・5 その他の注意

題名や著者名，所属は，適当に行をあけるなどレイアウトの工夫をお願いします。題名と著者名は日本語と英語で上記のように併記し，講演者に○印を付けて下さい。式や参考文献の書き方は，日本材料学会の「原稿執筆上の規約」を参照して下さい（前述のホームページ参照）。

3 発表での注意事項

シンポジウムでの講演時間は 20 分（発表 15 分，討論 4 分，交代 1 分）です。発表機材は，PC プロジェクタを準備いたします。PC は発表者が各自ご準備ください。

4 結 言

前刷原稿の締切りは，平成 25 年 10 月 11 日（金）です。原稿提出は期限厳守をお願いいたします。

参 考 文 献

- 1) K. Ohnishi and S. Matsuda, “Radiation effects on semiconductor devices: Recent trends of research works”, Journal of the Institute of Electronics and Communication Engineers of Japan, Vol.85, No.9, pp.662-669 (2002).
- 2) S. Gonda, H. Tsutsumi, Y. Ito, T. Mukai and S. Nagahama, “Proton radiation effects in nitride lasers and light emitting diodes”, Physica Status Solidi (a), Vol.204, Issue 1, pp.231-235 (2006).
- 3) J. W. Corbett and J. C. Bourgoin, in “Point defects in solids”, Eds. J. H. Crawford and L. M. Slifkin, p.136 (1975) Plenum Press.